

令和8年2月20日

あの頃の国鉄2 「ゆうあい鉄道学園」を行います

ゆうあい館では、昭和という時代のふるさとの姿を学び、過ぎ去った時代を懐かしみながら、貴重な当時の知恵も共有し、ふるさとの未来づくりを想う講座に取り組んでいます。

昨年度の「あの頃の国鉄」に続き、今回は「ゆうあい鉄道学園」を開催します。苦しくも心豊かに光り輝いた人々の生活があった「昭和」という時代に、日本の発展を支え続けた「日本国有鉄道」。「国鉄のまち」といわれるほど多くの国鉄職員とその家族が暮らしていた私たちのふるさと。市民である元国鉄職員が当時の暮らしぶりや高崎鉄道管理局の職員養成研修機関「高崎鉄道学園」での研修を受けたあの頃を思い描きながら、各専門分野も含めて分かりやすく語ります。



国鉄の制服姿で（令和6年度）



関連資料展示（令和6年度）

1. 日 時 3月14日・28日(土) 各回 午前9時30分～11時30分
2. 定 員 各回30名
3. 講 師

14日 竹田福之 氏(元高崎信号区)	「やさしい鉄道信号と踏切のはなし」
古谷正義 氏(元松井田駅)	「駅業務の思い出」
28日 岩坂康男 氏(元横川機関区)	「昭和の国鉄の運転系統の概要」
田村秀雄 氏(元高崎第二機関区)	「旅客・貨物列車の操作方」
4. 会 場 ゆうあい館 2階会議室
5. 申込み 2月18日(水)9時から電話のみ受付開始

【問い合わせ】

市民環境部市民課 ゆうあい館

TEL027-393-3537